

# 公社債・エクイティ市場の動向について

(2025 年度第 4 四半期：2026 年 1 月～3 月)

2026 年 4 月

日本証券業協会

市場統計業務室

## ( 目 次 )

1. 公社債発行市場の動向について .....	1
(1) 公社債の発行額の状況 .....	1
(2) 国債の発行額の状況 .....	2
(3) 国債以外の発行額の状況 .....	3
2. 公社債流通市場の動向について .....	4
(1) 公社債店頭売買高 .....	4
(2) 債券レポ取引（現先・現担取引残高） .....	13
3. エクイティファイナンスの動向について .....	14
(1) 全国上場会社の公募増資等の状況 .....	14
(2) 全国上場会社の売出しの状況 .....	17

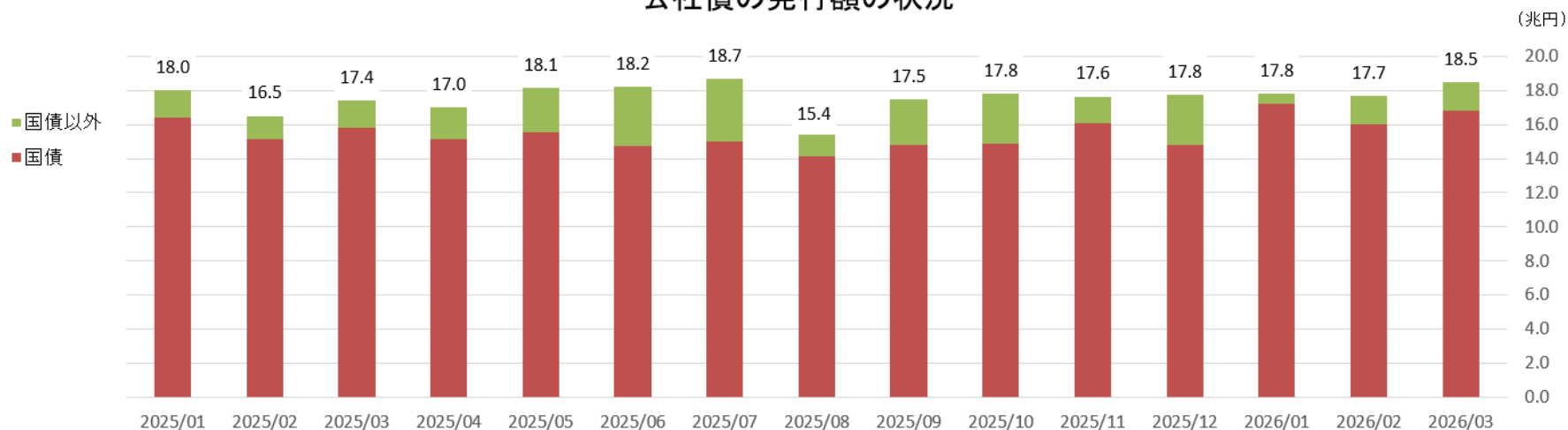
# 1. 公社債発行市場の動向について

## (1) 公社債の発行額の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）における公社債の発行額のうち、国債の発行額については、全体として前期（2025年10月～12月）、前年同期（2025年1月～3月）よりやや大きく、各月16～17兆円程度で推移し、前年同期比で2.7兆円増の50.0兆円となった（前年同期：47.3兆円）。また、国債等以外の発行額は、前年同期比で微減の3.9兆円となり、今期における公社債全体の発行額は、前年同期比2.1兆円増の54.0兆円となった。

今期中の長期金利は、一時27年ぶりの高水準となる2.38%を超える水準を記録するなど、金利の上昇は一層はっきりしたものとなっている。今後の動向が注目される。

公社債の発行額の状況



(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
国債	16.4	15.1	15.8	15.1	15.5	14.8	15.0	14.1	14.8	14.9	16.1	14.8	17.2	16.0	16.8
国債以外	1.6	1.4	1.6	1.9	2.6	3.5	3.7	1.3	2.7	2.9	1.5	2.9	0.6	1.7	1.6
合計	18.0	16.5	17.4	17.0	18.1	18.2	18.7	15.4	17.5	17.8	17.6	17.8	17.8	17.7	18.5

(注1)「発行額」については、国内で発行された公募の公社債の発行額を集計対象としている。

(注2) 単位未満の金額については、原則として四捨五入しているため、合計の金額と内訳の計が一致しない場合がある。

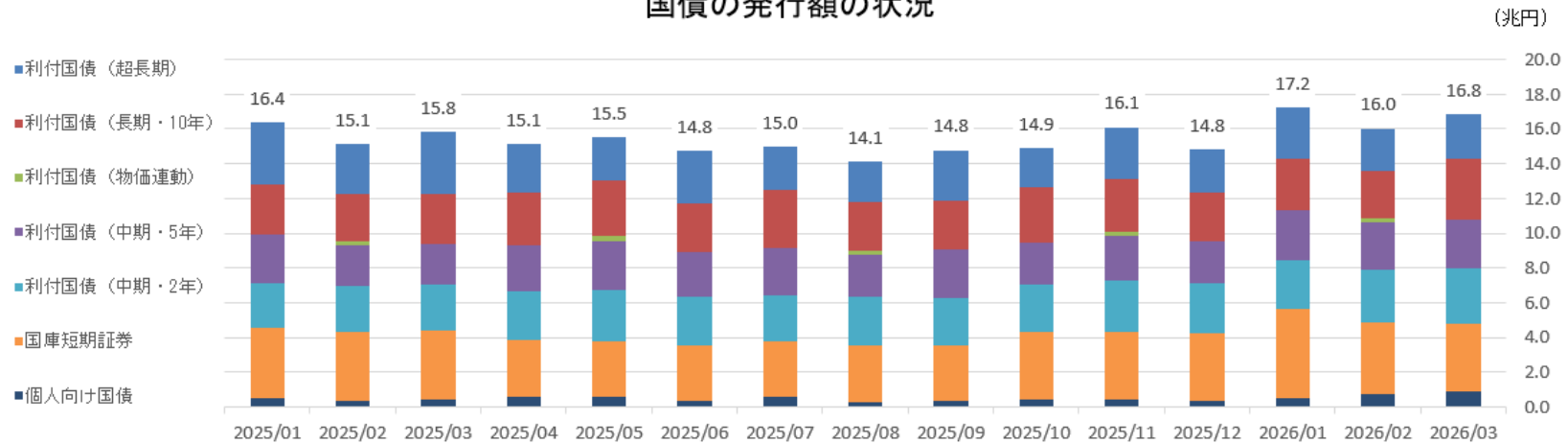
## (2) 国債の発行額の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の国債発行額は、各月16～17兆円程度で推移し、前期（2025年10月～12月）比約4.2兆円増の50.0兆円となった（前期：45.8兆円）。

今期の国債の発行状況を見ると、国庫短期証券の増額が引き続き顕著（前期比1.4兆円増）となっているが、これは令和7年度国債発行計画（6月変更）（以下、「同計画」という。）において発行時期が明記されていない6か月以下の年限の発行が理由であると思われる。また、利付国債（10年）については、前期比0.3兆円増の9.2兆円となっているが、これは前期になかったGX国債の発行が理由であると思われる。

一方、超長期国債は、前期とほぼ同額の7.9兆円となったが、超長期国債については、需給の問題から発行減額を求める意見も強く、来年度は更なる減額が予定されている。また、利付国債（5年）は前期比1.0兆円増の8.4兆円となっているが、これは前期になかったGX国債の発行が今期は行われたことが主な理由である。

国債の発行額の状況

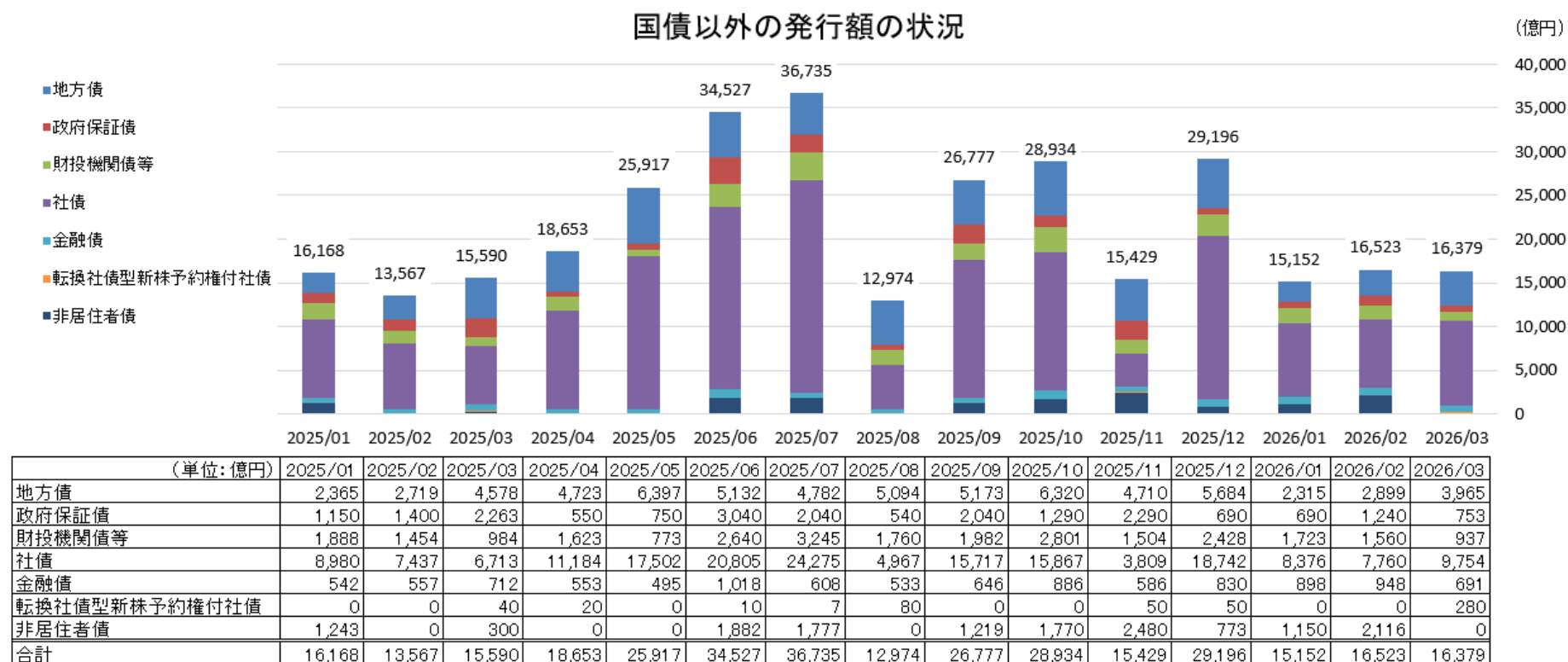


(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
利付国債(超長期)	3.6	2.9	3.6	2.8	2.5	3.1	2.5	2.4	2.9	2.3	3.0	2.5	2.9	2.4	2.6
利付国債(長期・10年)	2.9	2.7	2.9	3.0	3.2	2.8	3.4	2.8	2.9	3.1	3.0	2.8	3.0	2.7	3.5
利付国債(物価連動)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
利付国債(中期・5年)	2.8	2.3	2.4	2.6	2.8	2.6	2.7	2.4	2.8	2.4	2.6	2.4	2.9	2.7	2.8
利付国債(中期・2年)	2.6	2.7	2.6	2.9	2.9	2.8	2.6	2.8	2.7	2.7	2.9	2.9	2.8	3.1	3.2
国庫短期証券	4.0	4.0	4.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.9	3.9	3.9	5.1	4.1	3.9
個人向け国債	0.5	0.3	0.4	0.6	0.6	0.3	0.6	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.8	0.9
合計	16.4	15.1	15.8	15.1	15.5	14.8	15.0	14.1	14.8	14.9	16.1	14.8	17.2	16.0	16.8

### (3) 国債以外の発行額の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）における国債以外の発行額は、前期（2025年10月～12月）比約2.5兆円減の4.8兆円となり、前年同期（2025年1月～3月）同様に、1年で最も低水準となった（前期：7.3兆円）。

国債以外の発行の中心となっている社債の発行額が前年同期同様に低調であったことが主な理由であり、今期は、前期（3.8兆円）から約1.2兆円減の2.6兆円となった。次いで金額の大きい地方債については、前期比ではやや大きく減少（約0.7兆円減）しているが、前年同期比ではほぼ同水準である。



## 2. 公社債流通市場の動向について

### (1) 公社債店頭売買高

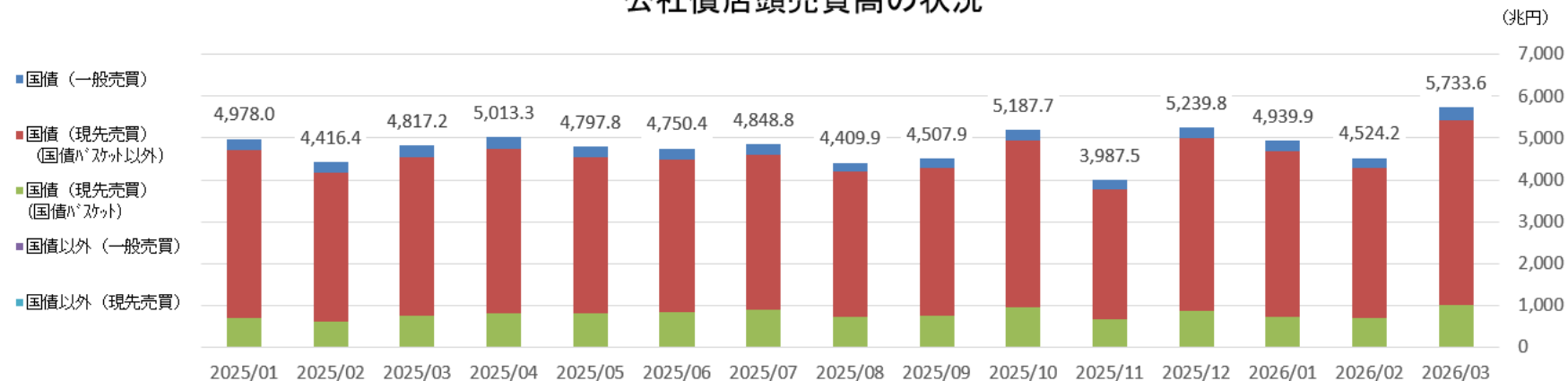
#### ① 公社債店頭売買高（国債・国債以外）の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の公社債店頭売買高は、合計15,197兆円となり、前期（2025年10月～12月）の14,415兆円から約782兆円の増額となった。

前年同期（2025年1月～3月：14,211兆円）との比較では、約7%増となり、特に2026年3月の合計額は過去最高額であった2024年7月の5,772兆円に迫る水準であり、引き続き堅調に推移している。

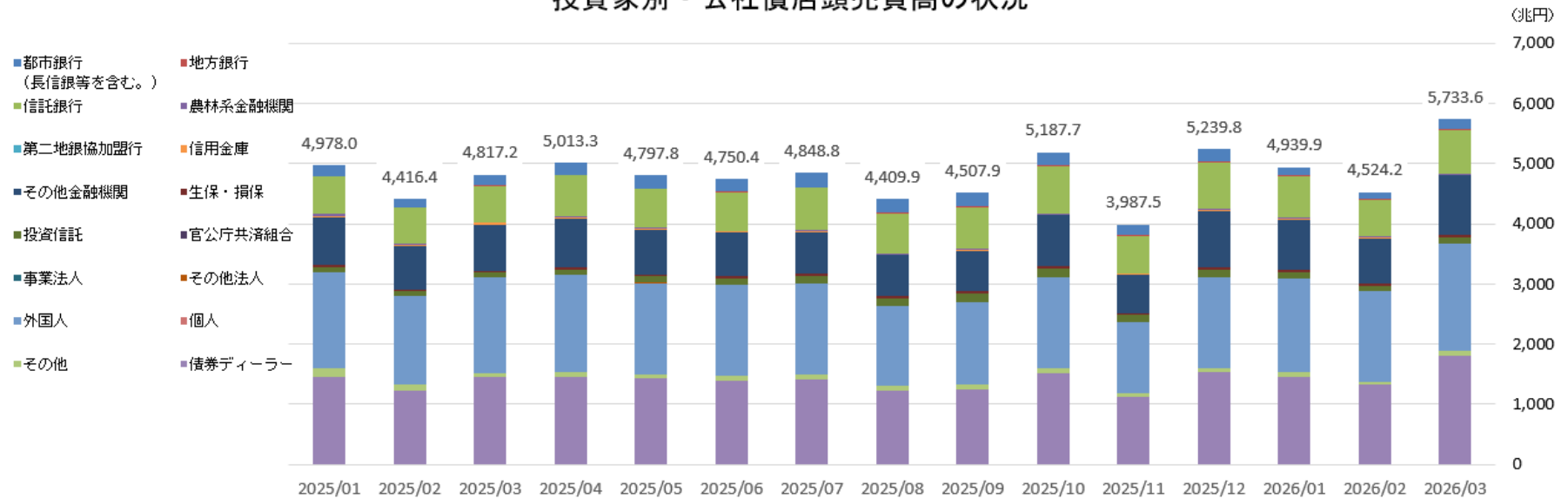
なお、今期も、為替（米ドル・円）については7円程度の比較的大きな変動となり、前述のとおり金利の上昇もあったが、外国人やその他金融機関並びに債券ディーラーといった大口投資家の売買動向には、目立った変動はなかった。

公社債店頭売買高の状況



(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
国債(一般売買)	256.6	258.1	273.8	272.6	254.0	253.6	237.6	216.3	215.9	248.1	213.6	249.2	269.8	245.1	309.7
国債(現先売買) (国債バスケット以外)	4,025.2	3,555.7	3,801.7	3,923.8	3,726.4	3,669.2	3,700.2	3,453.6	3,540.8	3,993.0	3,098.6	4,125.6	3,931.3	3,577.5	4,417.0
国債(現先売買) (国債バスケット)	692.8	598.7	736.1	813.2	812.3	821.9	906.4	735.4	746.4	942.0	670.7	859.3	732.6	695.1	998.3
国債以外(一般売買)	2.8	3.6	5.0	3.4	2.8	3.5	3.1	2.9	3.4	3.1	2.8	3.8	4.8	5.0	6.7
国債以外(現先売買)	0.6	0.3	0.7	0.3	2.3	2.2	1.5	1.6	1.4	1.5	1.8	2.0	1.4	1.5	1.9
合計	4,978.0	4,416.4	4,817.2	5,013.3	4,797.8	4,750.4	4,848.8	4,409.9	4,507.9	5,187.7	3,987.5	5,239.8	4,939.9	4,524.2	5,733.6

## 投資家別・公社債店頭売買高の状況



(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
都市銀行(長信銀等を含む。)	182.88	146.26	178.17	205.37	217.96	221.81	246.60	232.29	223.19	223.41	176.73	203.83	139.77	114.51	167.42
地方銀行	6.08	4.67	10.89	7.47	4.53	3.92	6.57	8.40	8.70	8.99	10.39	12.42	7.56	8.21	11.20
信託銀行	628.92	596.05	598.74	674.12	637.83	638.26	702.58	670.70	696.87	795.30	621.09	784.38	693.33	618.15	717.42
農林系金融機関	43.98	27.99	17.36	19.17	24.65	17.32	15.37	11.33	16.96	15.17	9.15	17.90	23.12	16.97	23.16
第二地銀協加盟行	0.22	0.27	0.61	0.24	0.27	0.14	0.21	0.18	0.27	0.33	0.26	0.55	0.57	0.40	1.38
信用金庫	16.40	20.75	37.39	30.79	16.64	17.29	15.51	11.50	12.61	9.60	10.01	18.25	20.02	17.44	14.97
その他金融機関	786.74	716.40	753.63	809.22	739.23	726.19	683.75	668.32	674.98	844.03	640.33	929.05	830.87	733.10	979.97
生保・損保	26.65	22.60	26.16	30.13	35.52	34.96	42.35	39.50	36.73	45.13	36.35	36.57	40.47	43.73	43.65
投資信託	90.95	75.77	88.76	89.94	98.98	101.49	124.42	126.75	134.69	135.72	115.27	120.03	95.01	82.39	96.10
官公庁共済組合	0.09	0.06	0.05	0.09	0.06	0.06	0.10	0.05	0.04	0.04	0.07	0.06	0.07	0.04	0.03
事業法人	0.26	0.24	0.35	0.58	2.33	2.01	1.37	0.69	0.70	1.72	1.28	1.78	2.17	1.98	3.05
その他法人	1.78	1.88	2.52	4.15	4.39	2.79	3.73	3.13	3.03	2.92	1.94	3.62	3.46	3.59	3.39
外国人	1,593.12	1,483.23	1,576.32	1,614.67	1,518.40	1,515.98	1,517.21	1,333.84	1,376.24	1,515.04	1,179.45	1,508.95	1,541.94	1,502.06	1,791.14
個人	0.04	0.06	0.05	0.06	0.04	0.04	0.05	0.04	0.06	0.07	0.05	0.09	0.08	0.07	0.11
その他	142.50	87.29	74.89	64.47	63.76	66.32	66.92	66.83	72.36	82.08	66.83	64.80	77.21	61.84	82.02
債券ディーラー	1,457.36	1,232.88	1,451.33	1,462.81	1,433.21	1,401.83	1,422.09	1,236.32	1,250.47	1,508.18	1,118.27	1,537.54	1,464.28	1,319.72	1,798.60
合計	4,978.0	4,416.4	4,817.2	5,013.3	4,797.8	4,750.4	4,848.8	4,409.9	4,507.9	5,187.7	3,987.5	5,239.8	4,939.9	4,524.2	5,733.6

## ② 国債店頭売買高の状況

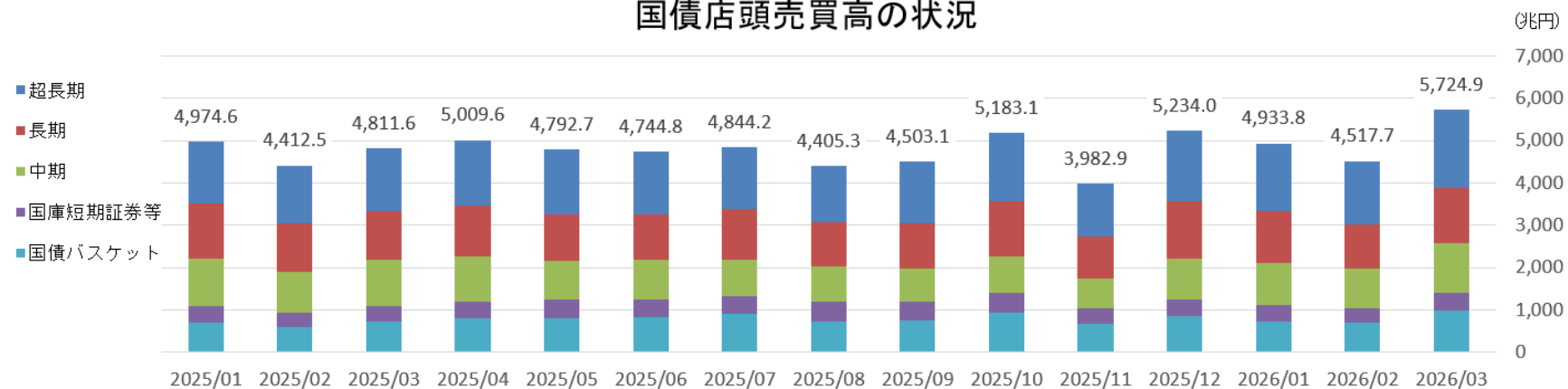
2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の国債店頭売買高は、合計金額ベースで前年同期（2025年1月～3月）比978兆円増の15,176兆円となった。

年限別に見てみると、超長期国債の売買高が前期（2025年10月～12月）比417兆円増、前年同期比で約607兆円増と更に大きく数字を伸ばし、4,920兆円となった（前年同期：4,313兆円）。

一方、国庫短期証券等の売買高及び国債バスケット取引の売買高については、ともに前期比でやや減額したものの、前年同期比ではトータルで432兆円の増額となった（国庫短期証券等は前年同期1,082兆円が今期1,116兆円に増額、国債バスケットは前年同期2,027兆円が今期2,426兆円に増額）。

また、前期比では前期、前々期（2025年7月～9月）とやや減少トレンドが続いていた中期国債の売買高については、今期は前年同期比70兆円減の3,123兆円と回復した。

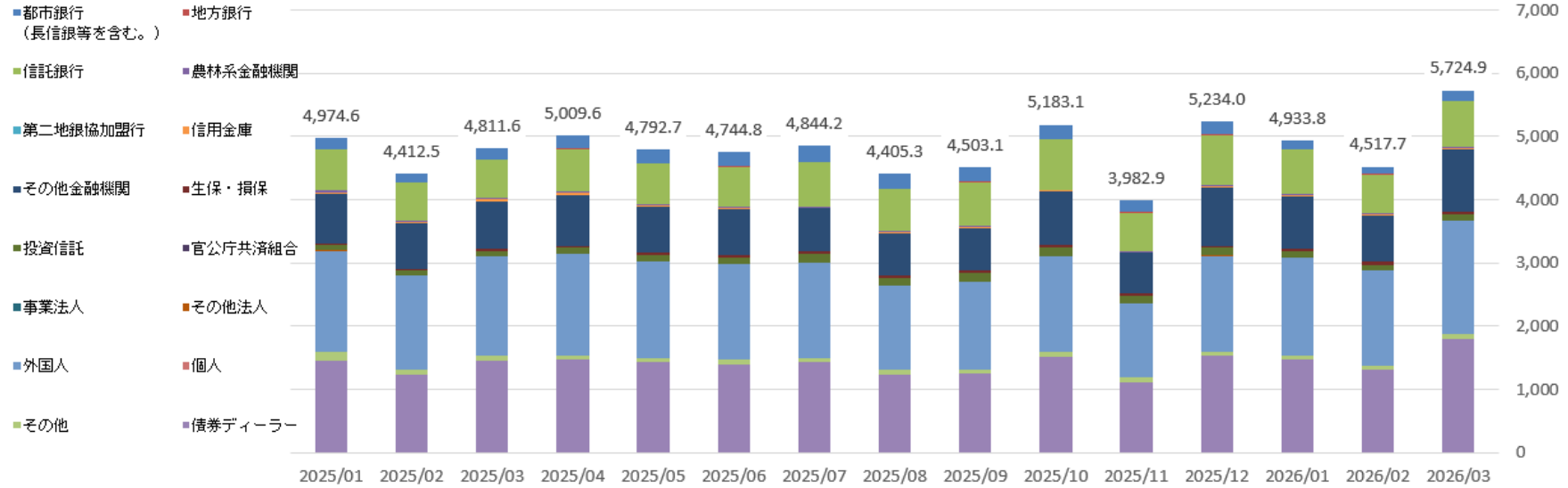
国債店頭売買高の状況



(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
超長期	1,469.2	1,367.2	1,476.8	1,549.6	1,532.0	1,485.2	1,456.0	1,326.4	1,447.2	1,600.8	1,237.2	1,665.7	1,594.6	1,487.5	1,838.5
長期	1,295.6	1,143.1	1,142.7	1,183.7	1,093.0	1,070.5	1,196.0	1,054.6	1,082.0	1,311.0	991.6	1,359.9	1,229.3	1,063.1	1,297.3
中期	1,119.2	973.6	1,101.0	1,080.6	925.7	941.9	874.6	826.2	777.6	874.0	710.3	967.6	1,004.7	937.8	1,181.0
国庫短期証券等	397.9	329.9	355.0	382.6	429.7	425.2	411.2	462.7	449.9	455.3	373.2	381.5	372.5	334.2	409.9
国債バスケット	692.8	598.7	736.1	813.2	812.3	821.9	906.4	735.4	746.4	942.0	670.7	859.3	732.6	695.1	998.3
合計	4,974.6	4,412.5	4,811.6	5,009.6	4,792.7	4,744.8	4,844.2	4,405.3	4,503.1	5,183.1	3,982.9	5,234.0	4,933.8	4,517.7	5,724.9

## 投資家別・国債店頭売買高の状況

(兆円)



(単位:兆円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
都市銀行(長信銀等を含む。)	182.65	145.49	177.38	205.07	217.90	221.73	246.58	232.23	223.10	223.34	176.69	203.81	139.31	114.38	166.99
地方銀行	5.67	4.18	9.89	6.96	4.19	3.60	6.26	7.73	8.12	8.59	9.76	11.82	6.03	6.42	9.32
信託銀行	628.40	595.44	597.84	673.37	637.10	637.43	701.87	670.17	696.30	794.68	620.59	783.51	692.65	617.41	716.36
農林系金融機関	43.92	27.90	17.28	19.06	24.55	17.17	15.24	11.22	16.78	15.05	9.01	17.76	22.99	16.79	22.96
第二地銀協加盟行	0.13	0.19	0.50	0.19	0.19	0.10	0.17	0.11	0.19	0.24	0.21	0.41	0.45	0.27	0.92
信用金庫	16.17	20.52	37.03	30.44	16.42	17.09	15.25	11.18	12.34	9.33	9.73	17.88	19.65	17.05	14.45
その他金融機関	786.63	716.26	753.38	809.03	739.11	726.00	683.63	668.22	674.82	843.86	640.22	928.93	830.52	732.53	979.30
生保・損保	26.51	22.35	25.80	29.93	35.30	34.64	42.13	39.29	36.47	44.93	36.20	36.15	40.23	43.40	43.01
投資信託	90.74	75.54	88.48	89.71	98.74	101.17	124.18	126.53	134.51	135.49	115.03	119.66	94.81	82.14	95.86
官公庁共済組合	0.04	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.03	0.01	0.02	0.05	0.02	0.05	0.02	0.02
事業法人	0.13	0.10	0.21	0.22	0.53	0.33	0.57	0.45	0.38	0.79	0.57	0.73	1.47	1.79	2.43
その他法人	1.66	1.76	2.39	4.01	4.28	2.64	3.58	3.02	2.88	2.79	1.85	3.50	3.34	3.46	3.26
外国人	1,593.07	1,483.15	1,576.19	1,614.58	1,518.29	1,515.85	1,517.09	1,333.77	1,376.09	1,514.84	1,179.32	1,508.85	1,541.78	1,501.78	1,790.99
個人	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.05
その他	141.71	86.86	74.05	64.22	63.03	65.39	65.80	65.18	70.76	81.11	65.46	63.57	76.48	60.97	81.02
債券ディーラー	1,457.12	1,232.74	1,451.11	1,462.72	1,433.08	1,401.58	1,421.82	1,236.18	1,250.31	1,508.06	1,118.18	1,537.40	1,463.98	1,319.23	1,798.00
合計	4,974.6	4,412.5	4,811.6	5,009.6	4,792.7	4,744.8	4,844.2	4,405.3	4,503.1	5,183.1	3,982.9	5,234.0	4,933.8	4,517.7	5,724.9

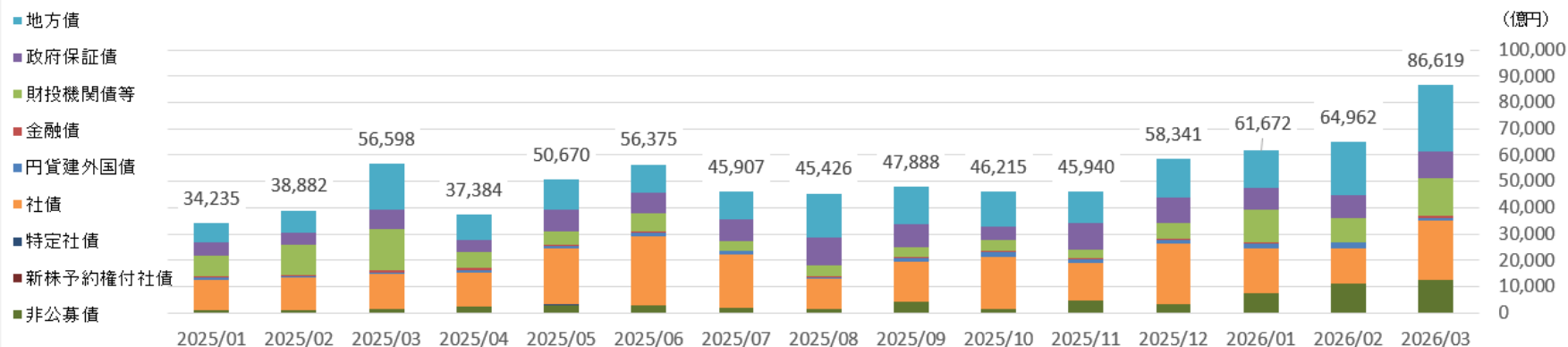
### ③ 国債以外の店頭売買高の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の国債以外の債券の店頭売買高は合計で21兆3,253億円となり、前期（2025年10月～12月）と比べ約6.3兆円と大きく増額した（前期：15兆496億円）

内訳を見ると、前期との比較では、減少傾向が続いていた財投機関債等の金額が、前期に増額に反転したが、今期も前期比約2.2兆円増の3兆5,596億円となり反転した。

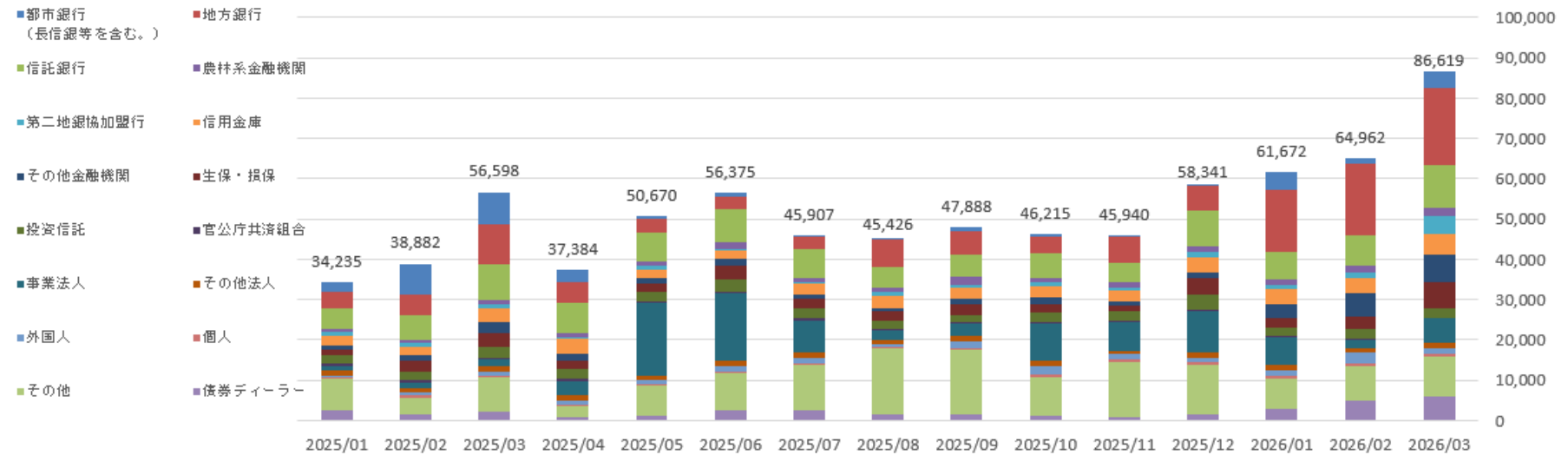
また、社債と並ぶ大きな割合を占める地方債についても、前期比で約2兆円の増額の59,331億円と全体の増額の大きな要因となった。はっきりした要因は確認できていないが、いずれも国債に近い性質で、国債の金利水準の影響を直接受ける比較的長期の債券であることから、ここ最近の長期金利の上昇を受けた入替売買等が予想できる。

国債以外の店頭売買高の状況



(単位: 億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
地方債	7,487	8,244	17,241	9,669	11,539	10,686	10,461	17,019	14,213	13,261	11,895	14,711	14,196	20,017	25,118
政府保証債	4,915	4,803	7,312	4,587	8,332	7,638	7,978	10,458	8,945	5,413	10,072	9,461	8,250	8,740	10,454
財投機関債等	8,146	11,550	15,999	6,111	4,911	6,988	3,863	4,193	3,640	4,057	3,129	6,219	12,283	9,238	14,075
金融債	397	404	750	927	567	562	250	274	438	374	341	365	407	289	866
円貨建外国債	828	508	685	629	962	1,263	1,076	482	1,060	1,705	1,323	1,073	1,834	2,143	869
社債	11,353	12,498	13,158	13,196	21,298	26,527	20,238	11,715	15,502	19,967	14,668	23,228	17,338	13,300	22,529
特定社債	9	1	7	0	4	6	3	0	24	3	1	3	20	5	9
新株予約権付社債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非公募債	1,100	874	1,446	2,265	3,057	2,705	2,038	1,285	4,066	1,435	4,511	3,281	7,344	11,230	12,699
合計	34,235	38,882	56,598	37,384	50,670	56,375	45,907	45,426	47,888	46,215	45,940	58,341	61,672	64,962	86,619

## 投資家別・国債以外の店頭売買高の状況



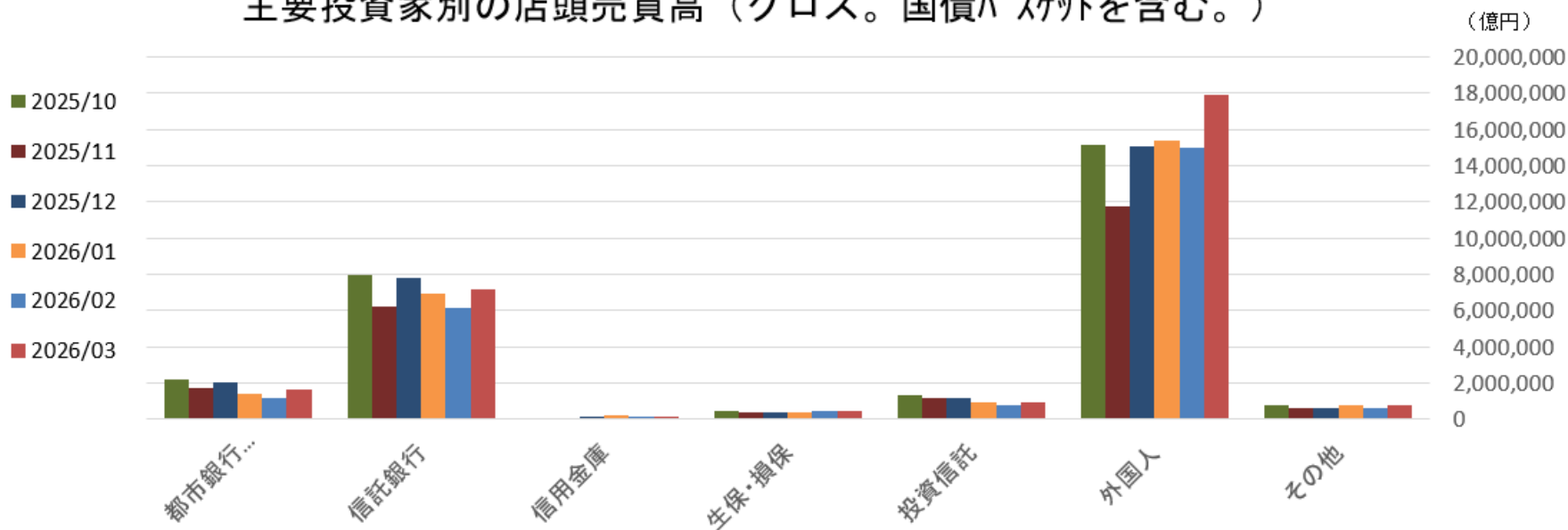
(単位:億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
都市銀行(長信銀等を含む。)	2,304	7,689	7,861	3,005	602	798	190	607	855	672	441	251	4,583	1,250	4,273
地方銀行	4,093	4,899	9,987	5,048	3,436	3,141	3,070	6,638	5,820	3,990	6,346	6,005	15,292	17,874	18,825
信託銀行	5,188	6,154	8,932	7,489	7,281	8,306	7,131	5,292	5,638	6,187	4,950	8,783	6,737	7,383	10,676
農林系金融機関	654	972	844	1,085	1,073	1,486	1,267	1,051	1,782	1,171	1,346	1,442	1,382	1,744	1,954
第二地銀協加盟行	980	788	1,044	510	800	390	402	753	723	906	499	1,359	1,192	1,312	4,581
信用金庫	2,253	2,272	3,569	3,545	2,225	2,019	2,597	3,128	2,674	2,699	2,766	3,767	3,698	3,846	5,231
その他金融機関	1,110	1,382	2,541	1,915	1,188	1,900	1,141	965	1,557	1,746	1,105	1,236	3,455	5,610	6,766
生保・損保	1,458	2,492	3,615	2,015	2,181	3,154	2,241	2,064	2,563	2,047	1,468	4,208	2,398	3,287	6,414
投資信託	2,090	2,279	2,808	2,275	2,430	3,155	2,375	2,181	1,845	2,328	2,395	3,690	2,012	2,434	2,371
官公庁共済組合	477	440	331	644	394	354	569	216	260	259	214	327	148	239	84
事業法人	1,222	1,377	1,456	3,594	17,946	16,758	7,993	2,408	3,162	9,347	7,106	10,479	7,025	1,913	6,142
その他法人	1,206	1,157	1,335	1,410	1,098	1,492	1,527	1,101	1,455	1,347	881	1,236	1,196	1,217	1,276
外国人	506	772	1,244	888	1,079	1,320	1,171	721	1,461	2,002	1,346	1,007	1,570	2,806	1,502
個人	367	483	439	548	311	336	409	319	541	587	468	813	623	516	545
その他	7,936	4,294	8,406	2,532	7,297	9,253	11,189	16,549	15,976	9,681	13,742	12,318	7,356	8,650	9,980
債券ディーラー	2,391	1,432	2,186	881	1,329	2,513	2,635	1,433	1,576	1,246	867	1,420	3,005	4,881	5,999
合計	34,235	38,882	56,598	37,384	50,670	56,375	45,907	45,426	47,888	46,215	45,940	58,341	61,672	64,962	86,619

#### ④ 主要投資家別の公社債店頭売買高(グロス。国債バスケットを含む。)の状況

2025年度第4四半期(2026年1月~3月)の主要投資家別の店頭売買高(グロス)は、期間中の為替(米ドル・円)の変動は引き続き大きかったものの、外国人の売買が中心となる状況は変わらず、外国人の店頭売買高は、前期(2025年10月~12月:4,203兆円)比約632兆円増の4,835兆円と、ここ数期よりも一段上の水準となった。

この他、前期との比較では、都市銀行の売買高の減額がやや目立ち、前期(約603兆円)比約182兆円減の421兆円となった。また、投資信託についても、前期・前々期(約371兆円・約385兆円)と同水準を維持していたが、今期は前期比約98兆円減の273兆円とやや減額した。

主要投資家別の店頭売買高(グロス。国債バスケットを含む。)



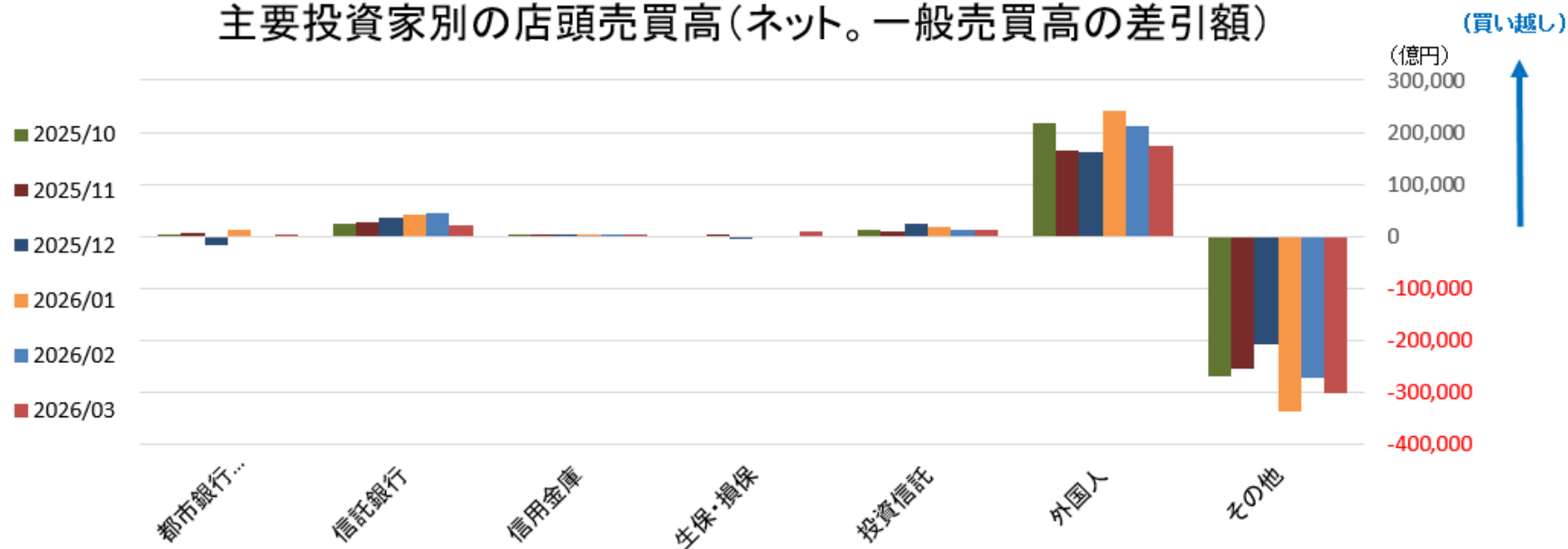
(注)「その他」とは、以下をいう。

日本銀行、政府、地方公共団体、官公庁の外郭団体、政府関係機関等(住宅金融支援機構、中小企業基盤整備機構、年金積立金管理運用、日本高速道路保有・債務返済機構、福祉医療機構、都市再生機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、地方公共団体金融機構等)、地方住宅供給公社、官公庁共済組合以外の共済組合等(私立学校職員共済組合等)、土地開発公社、共済協同組合、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険等(旧日本郵政公社)等

## ⑤ 主要投資家別の公社債店頭売買高(ネット。一般売買高の差引額)の状況

主要投資家別の店頭売買高(ネット、一般売買)における2025年度第4四半期(2026年1月~3月)の状況については、グロスベースでも大きな売買主体となり、今期は更に存在感を増している外国人による買い越しが更に大きくなり、前期(2025年10月~12月)より約8兆円増の約62.4兆円の買い越しとなった。また、都市銀行は、前期に売り越しに転じ、グロスベースの売買高もやや数字を落としたものの、今期の四半期トータルでは再び買い越しに転じた。いずれにしても、引き続き、外国人の存在感がますます目立つ結果となった。

### 主要投資家別の店頭売買高(ネット。一般売買高の差引額)



(注1) 「その他」とは、以下をいう。

日本銀行、政府、地方公共団体、官公庁の外郭団体、政府関係機関等(住宅金融支援機構、中小企業基盤整備機構、年金積立金管理運用、日本高速道路保有・債務返済機構、福祉医療機構、都市再生機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、地方公共団体金融機構等)、地方住宅供給公社、官公庁共済組合以外の共済組合等(私立学校職員共済組合等)、土地開発公社、共済協同組合、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険等(旧日本郵政公社)等

(注2) 店頭売買高の差額(ネットの金額)は、一般売買高の差引額(買付額-売付額)。プラスは「買い越し」(マイナスは「売り越し)」を表す。

## 投資家別の店頭売買高（グロス・ネット）

グラフに表示	(単位:億円)	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
☆ 都市銀行 (長信銀等を含む。)	グロス	2,234,118	1,767,304	2,038,333	1,397,716	1,145,056	1,674,178
	ネット	3,771	6,486	-16,709	13,106	-3,188	1,566
地方銀行	グロス	89,853	103,943	124,245	75,584	82,123	111,997
	ネット	2,214	6,903	1,284	-5,704	-2,985	2,845
☆ 信託銀行	グロス	7,953,032	6,210,873	7,843,849	6,933,250	6,181,484	7,174,230
	ネット	24,771	26,745	35,818	42,850	44,278	20,284
農林系金融機関	グロス	151,666	91,491	179,038	231,232	169,687	231,555
	ネット	1,708	4,202	5,173	5,047	2,776	6,975
第二地銀協加盟行	グロス	3,307	2,589	5,474	5,727	4,014	13,768
	ネット	1,316	1,504	753	-826	565	892
☆ 信用金庫	グロス	95,985	100,102	182,549	200,165	174,359	149,718
	ネット	1,392	3,349	1,817	1,441	140	3,179
その他金融機関	グロス	8,440,321	6,403,307	9,290,506	8,308,674	7,330,956	9,799,747
	ネット	5,322	5,357	4,398	4,483	2,687	3,478
☆ 生保・損保	グロス	451,310	363,480	365,731	404,745	437,323	436,547
	ネット	-1,851	1,365	-4,300	-3,185	-1,651	8,149
☆ 投資信託	グロス	1,357,188	1,152,683	1,200,259	950,115	823,866	961,009
	ネット	12,064	8,861	23,577	18,096	12,341	13,336
官公庁共済組合	グロス	418	691	573	658	423	314
	ネット	20	155	71	38	-125	14
事業法人	グロス	17,231	12,792	17,780	21,675	19,832	30,451
	ネット	1,951	2,559	2,751	1,870	2,094	3,431
その他法人	グロス	29,211	19,397	36,228	34,622	35,854	33,898
	ネット	3,867	6,399	7,543	9,596	7,982	11,956
☆ 外国人	グロス	15,150,420	11,794,511	15,089,461	15,419,363	15,020,582	17,911,439
	ネット	217,035	164,477	162,491	241,554	210,928	172,336
個人	グロス	656	531	912	781	658	1,066
	ネット	159	-83	277	208	202	611
☆ その他	グロス	820,766	668,320	647,971	772,109	618,394	820,200
	ネット	-271,172	-255,505	-209,614	-338,310	-273,103	-300,910
債券ディーラー	グロス	15,081,814	11,182,668	15,375,396	14,642,841	13,197,204	17,985,952
	ネット	-1,042	-787	648	-1,039	600	1,601
合計	グロス	51,877,296	39,874,682	52,398,305	49,399,257	45,241,815	57,336,069
	ネット	1,525	-18,013	15,978	-10,775	3,541	-50,257

(注1)「その他」とは、以下をいう。

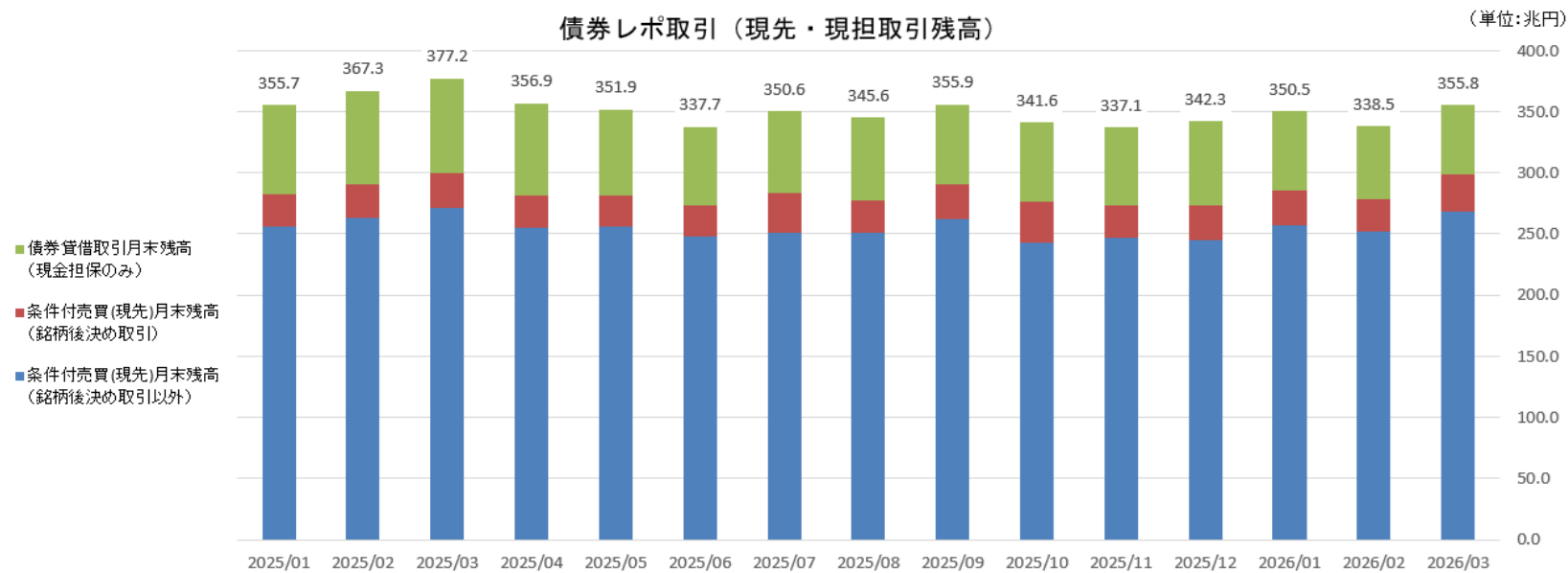
日本銀行、政府、地方公共団体、官公庁の外郭団体、政府関係機関等(住宅金融支援機構、中小企業基盤整備機構、年金積立金管理運用、日本高速道路保有・債務返済機構、福祉医療機構、都市再生機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、地方公共団体金融機構等)、地方住宅供給公社、官公庁共済組合以外の共済組合等(私立学校職員共済組合等)、土地開発公社、共済協同組合、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険等(旧日本郵政公社)等

(注2) 店頭売買高の差額(ネットの金額)は、一般売買高の差引額(買付額-売付額)。プラスは「買い越し」(マイナスは「売り越し)」を表す。

## (2) 債券レポ取引（現先・現担取引残高）

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の債券レポ取引（現先・現担取引残高）の残高合計は、約1,044兆円となり、前期（2025年10月～12月）と比較して約23兆円の増額となった。過去最高の水準であった2025年1月～3月の約1,100兆円からはやや減少傾向にあるものの、依然として高水準を維持している。

超長期国債については需給の問題から、やや発行が抑えられることが決定しており、新規に発行される国債はより短期化に進んでいるものの、国債の残高は着実に増えており、平均残存期間はほぼ変わっていない。今後、積極財政の方針がさらに強まれば、国債の発行額・年限・金利水準への影響が考えられ、レポ取引市場への影響も注目される。



（単位：兆円）	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
債券貸借取引月末残高 （現金担保のみ）	73.4	76.6	77.3	75.2	70.0	64.6	67.6	68.3	65.6	65.5	64.0	69.4	65.2	60.6	56.8
条件付売買（現先）月末残高 （銘柄後決め取引）	26.0	27.2	29.0	26.5	25.7	25.5	31.8	26.1	28.0	32.7	25.9	27.7	28.0	25.9	30.8
条件付売買（現先）月末残高 （銘柄後決め取引以外）	256.4	263.5	270.9	255.2	256.1	247.5	251.2	251.2	262.3	243.4	247.2	245.1	257.2	252.0	268.2
合計	355.7	367.3	377.2	356.9	351.9	337.7	350.6	345.6	355.9	341.6	337.1	342.3	350.5	338.5	355.8

### 3. エクイティファイナンスの動向について

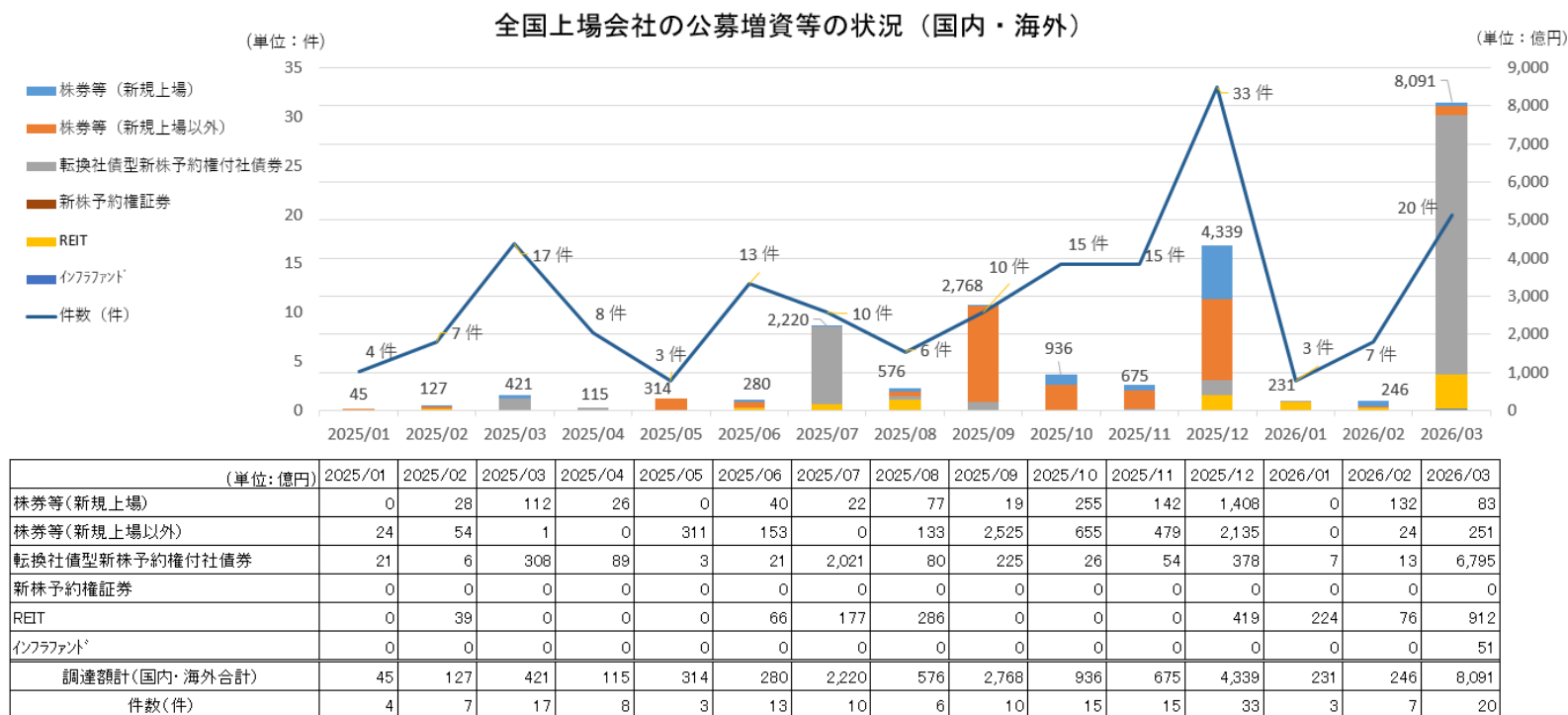
#### (1) 全国上場会社の公募増資等の状況

##### ① 国内・海外の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の全国上場会社の公募増資等（国内・海外）の状況は、調達額ベースで合計8,568億円となり、前期（2025年10月～12月：5,950億円）から2,618億円増額した。

内訳として、国内合計は1,651億円となり、前期（5,059億円）から3,408億円の減額となった。前期はANAホールディングス(株)（2,000億円）、(株)SBI新生銀行（1,290億円）等があったが、今期は同規模の案件はみられなかった。

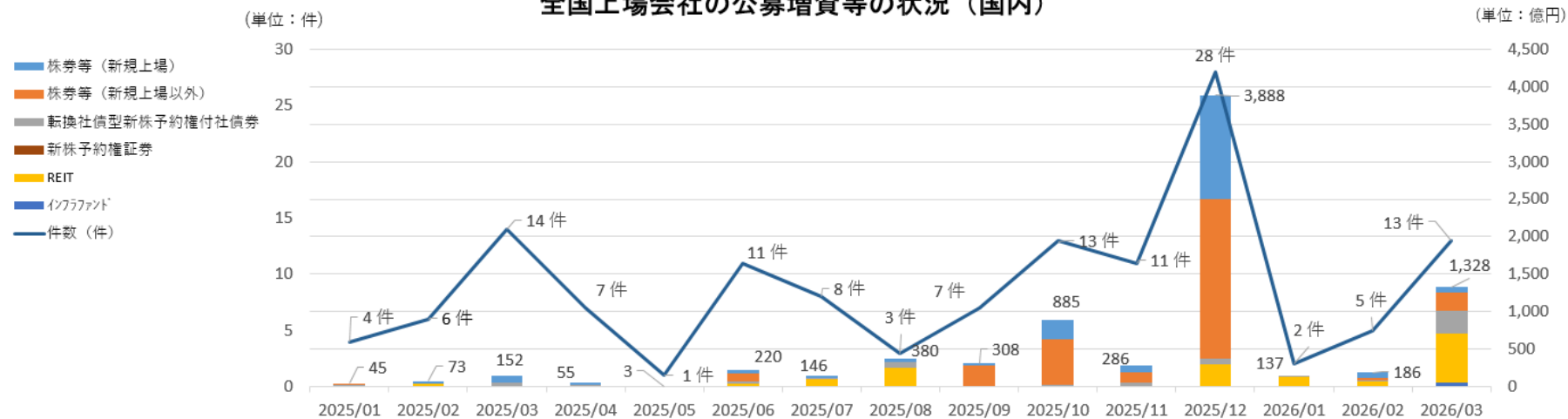
一方、海外合計は6,916億円となり、前期（891億円）から6,025億円の大幅な増額であった。2026年3月に日本製鉄(株)（6,000億円、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債）の大型案件があり、直近15か月においても、2026年3月の公募増資等は最高額となった。



(注)協会ホームページで発表している項目のうち、「新株予約権付社債券(転換社債型新株予約権付社債券を除く)」については、発表値に「0」が綴っているためグラフと表のデータから除外している。

## ② 国内の状況

### 全国上場会社の公募増資等の状況（国内）

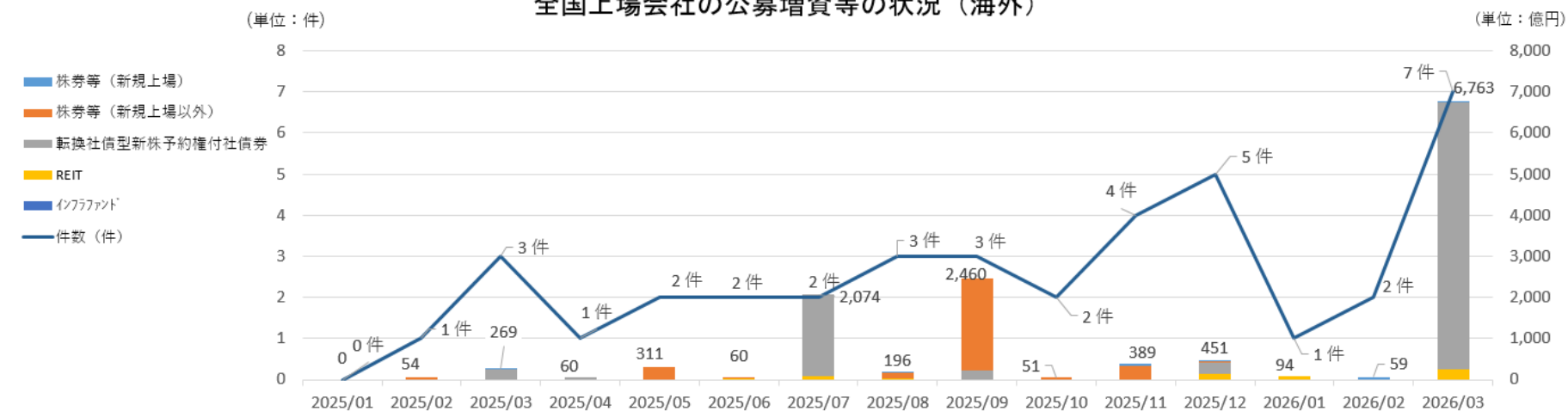


(単位: 億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
株券等(新規上場)	0	28	93	26	0	40	22	48	19	255	95	1,380	0	73	68
株券等(新規上場以外)	24	0	1	0	0	112	0	0	285	604	137	2,130	0	24	251
転換社債型新株予約権付社債券	21	6	58	29	3	21	21	80	5	26	54	78	7	13	295
新株予約権証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
REIT	0	39	0	0	0	47	103	252	0	0	0	291	130	76	665
インフラファンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
調達額計(国内合計)	45	73	152	55	3	220	146	380	308	885	286	3,888	137	186	1,328
件数(件)	4	6	14	7	1	11	8	3	7	13	11	28	2	5	13

(注)協会ホームページで発表している項目のうち、「新株予約権付社債券(転換社債型新株予約権付社債券を除く)」については、発表値に「0」が続いているためグラフと表のデータから除外している。

### ③ 海外の状況

#### 全国上場会社の公募増資等の状況（海外）



(単位：億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
株券等（新規上場）	0	0	19	0	0	0	0	30	0	0	48	18	0	59	15
株券等（新規上場以外）	0	54	0	0	311	41	0	133	2,240	51	341	5	0	0	0
転換社債型新株予約権付社債券	0	0	250	60	0	0	2,000	0	220	0	0	300	0	0	6,500
REIT	0	0	0	0	0	20	74	33	0	0	0	128	94	0	248
インフラファンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調達額計（海外合計）	0	54	269	60	311	60	2,074	196	2,460	51	389	451	94	59	6,763
件数（件）	0	1	3	1	2	2	2	3	3	2	4	5	1	2	7

(注)協会ホームページで発表している項目のうち、「新株予約権付社債券(転換社債型新株予約権付社債券を除く)」及び「新株予約権証券(コミットメント型ライツ・オフリング)」については、発表値に「0」が続いているためグラフと表のデータから除外している。

## (2) 全国上場会社の売出しの状況

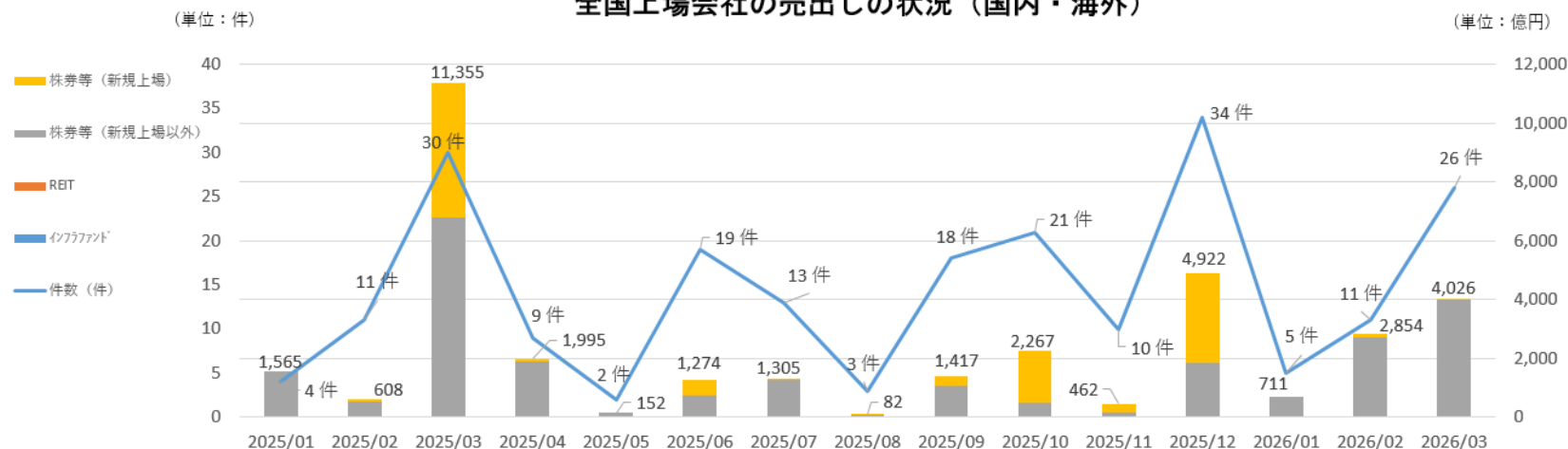
### ① 国内・海外の状況

2025年度第4四半期（2026年1月～3月）の売出額（国内・海外合計）は7,591億円となり、前期（2025年10月～12月：7,651億円）から60億円の減額であった。

内訳として、国内合計は6,000億円（前期4,745億円から1,255億円増）、海外合計は1,591億円（前期2,905億円から1,314億円減）であり、主な案件としては、2026年2月に信越化学工業(株)（国内：1,378億円）、3月に任天堂(株)（国内：1,235億円、海外：1,036億円）、(株)関電工（国内：729億円、海外：550億円）等があった。

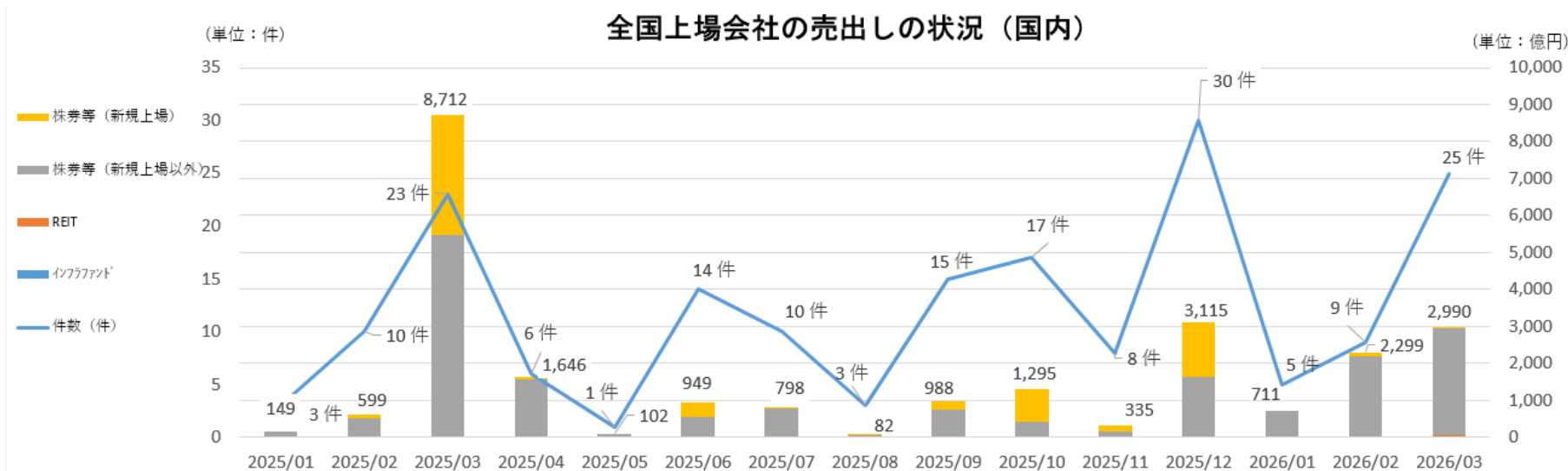
前期は2025年10月にテクセンドフォトマスク(株)（国内：541億円、海外：814億円）、12月に(株)SBI新生銀行（国内：930億円、海外：1,480億円）があり「株券等（新規上場）」の増額の要因となっていたが、今期は同規模の案件はなく、「株券等（新規上場）」については、国内、海外ともに減額であった。

全国上場会社の売出しの状況（国内・海外）



(単位: 億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
株券等(新規上場)	0	95	4,577	119	0	528	26	9	330	1,794	297	3,068	0	120	46
株券等(新規上場以外)	1,565	511	6,778	1,876	152	742	1,270	61	1,087	473	165	1,833	700	2,730	3,933
REIT	0	2	0	0	0	3	9	13	0	0	0	21	11	4	44
インフラファンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
売出額計(国内・海外合計)	1,565	608	11,355	1,995	152	1,274	1,305	82	1,417	2,267	462	4,922	711	2,854	4,026
件数(件)	4	11	30	9	2	19	13	3	18	21	10	34	5	11	26

## ② 国内の状況



(単位：億円)	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03
株券等（新規上場）	0	86	3,251	91	0	402	26	9	241	861	170	1,469	0	116	46
株券等（新規上場以外）	149	511	5,461	1,556	102	543	763	61	747	434	165	1,625	700	2,179	2,897
REIT	0	2	0	0	0	3	9	13	0	0	0	21	11	4	44
インフラファンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
売出額計（国内合計）	149	599	8,712	1,646	102	949	798	82	988	1,295	335	3,115	711	2,299	2,990
件数（件）	3	10	23	6	1	14	10	3	15	17	8	30	5	9	25

### ③ 海外の状況

